

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公表番号】特表2007-530903(P2007-530903A)

【公表日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-042

【出願番号】特願2007-504952(P2007-504952)

【国際特許分類】

F 26B 13/10 (2006.01)

B 29C 71/00 (2006.01)

B 65H 20/02 (2006.01)

【F I】

F 26B 13/10 D

B 29C 71/00

B 65H 20/02

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月4日(2007.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

密エンクロージャの粒子数を実質的に減じるのに十分な速度で流れる調整ガスの1つ以上のストリームを前記密エンクロージャに供給しながら、前記密エンクロージャにおいて、乾燥変換ステーションを通して基材を搬送することを含む、不定の長さの可動基材を乾燥変換する方法。

【請求項2】

乾燥変換ステーションと、基材を前記乾燥変換ステーションを通して搬送するための基材取扱い機器とを含み、密エンクロージャにおいて粒子数を実質的に減少させるのに十分な速度で流れる調整ガスの1つ以上のストリームが供給された密エンクロージャにより、前記乾燥変換ステーションに前記基材が密閉されている、不定の長さの可動基材を変換する装置。

【請求項3】

乾燥変換ステーションと、基材を前記乾燥変換ステーションを通して搬送するための基材取扱い機器とを含み、密エンクロージャにおいて雰囲気の物理特性を実質的に変化させるのに十分な速度で流れる調整ガスの1つ以上のストリームが供給された密エンクロージャにより、前記乾燥変換ステーションに前記基材が密閉されている、不定の長さの可動基材を変換する装置。